

和歌山県感染症報告<速報>

Wakayama Infectious Diseases Report (WIDR)

2011年第1号(週報)

2011年第1週(1月3日~1月9日)

◆◆ 注目すべき感染症の動向 ◆◆

ー 感染性胃腸炎 : 2010/11シーズンの現在までの動向についてー

1, 2010/11シーズンの感染性胃腸炎の流行について(2011/1/9現在)

今シーズンの患者報告数(県全体)は、2010年第41週(10/11~10/17)以降増加し始め、第47週(11/22~11/28)に定点当たり患者報告数が14.90人と最も多くなった後、減少傾向となり、直近の2011年第1週(1月3日~1月9日)では報告数が5.03人となっています。

地域別の流行状況では、県北部の岩出保健所管内で第39週以降、県内で最も早い患者報告数の増加が確認されました。その後、和歌山市、岩出、海南保健所管内で報告数の多い状況が続いていましたが、現在は報告数が減少しています。

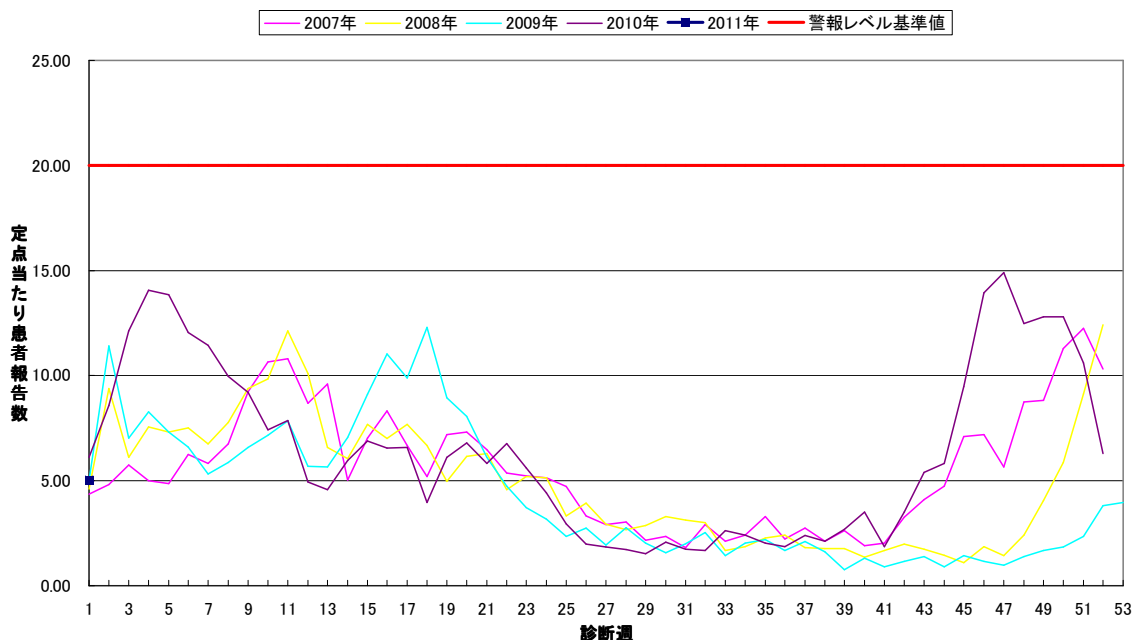
県中部では、第46週以降、定点当たり患者報告数が増加し始めましたが、現在は報告数が減少しています。

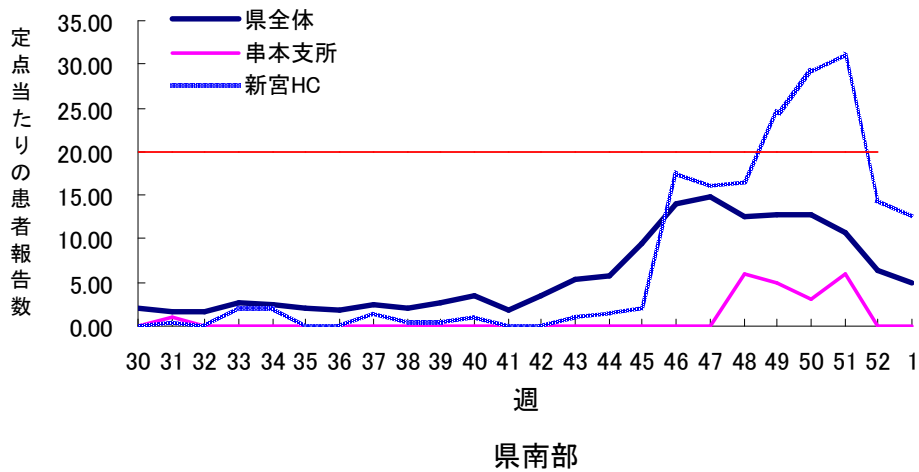
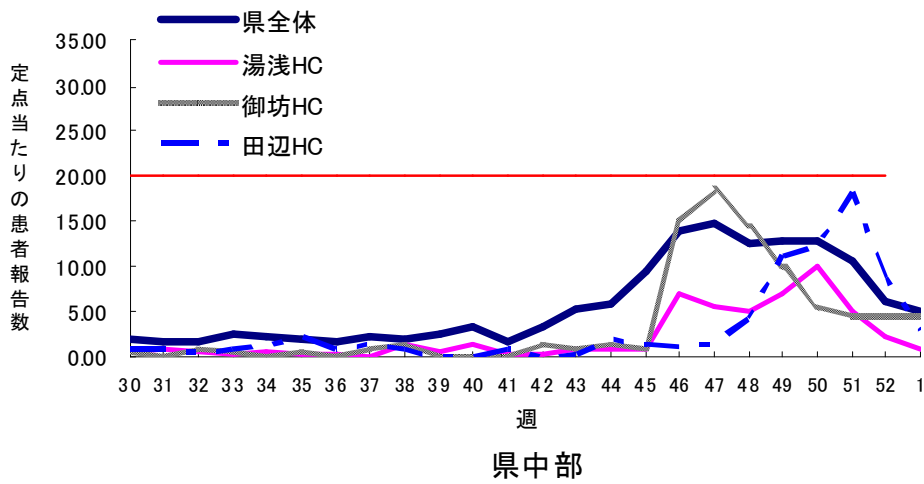
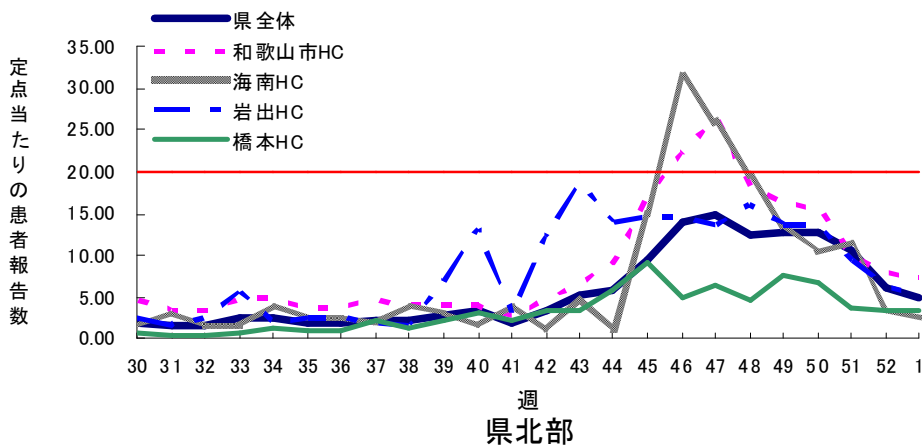
県南部でも、新宮保健所管内で第46週以降、患者報告数が急増しており、第49週に定点当たり患者報告数が24.50人と警報レベル基準値を超えました。第1週では12.50人と県内で最も定点当たりの患者報告数が多くなっています。

今シーズンの感染性胃腸炎の流行は県北部から県中・南部へ広がっていると考えられます。

今後、例年通りであれば緩やかに患者報告数は減少していきますが、手洗いを中心とした予防対策を継続することが重要です。

感染性胃腸炎(和歌山県全体)

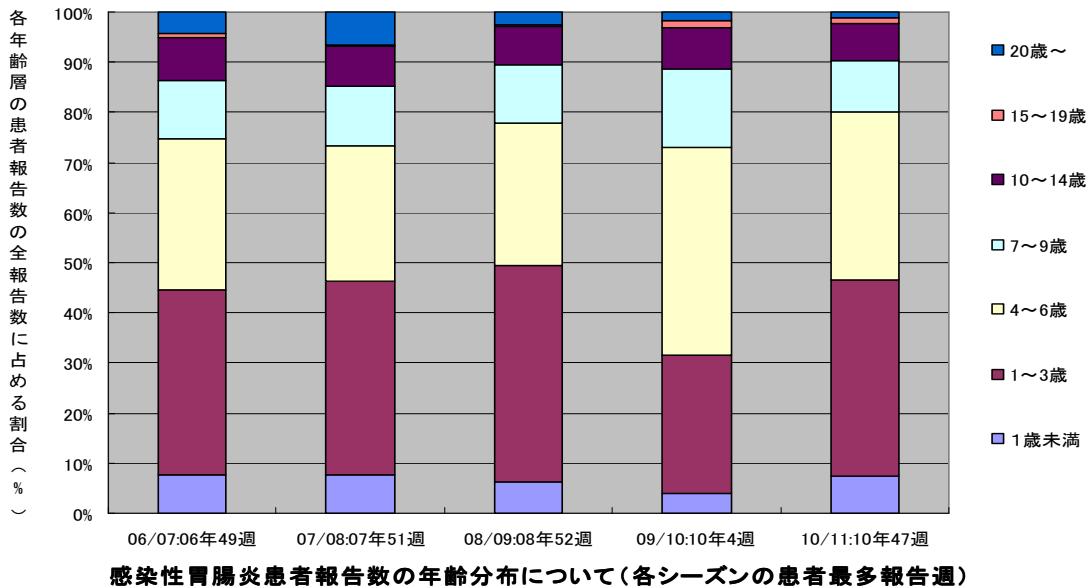




保健所別の感染性胃腸炎患者報告数の推移について

2, 感染性胃腸炎患者の年齢分布について (2011/1/13現在)

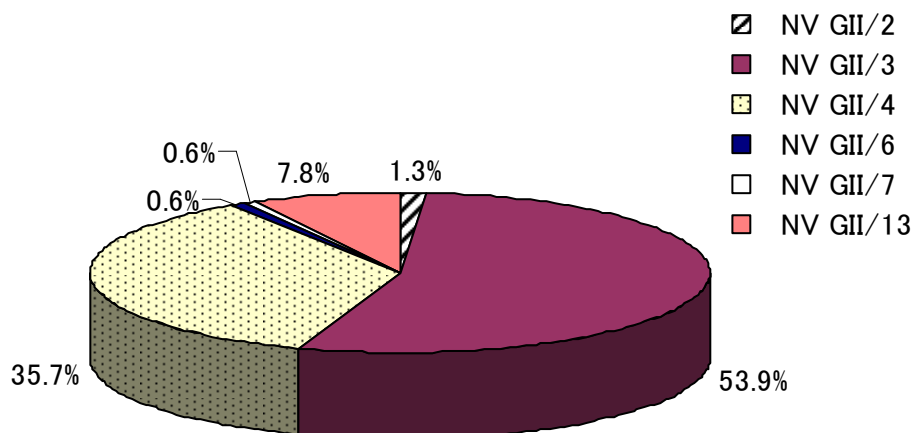
今シーズンの感染性胃腸炎患者の年齢分布をみると、2006/2007シーズン以降では、6歳以下の乳幼児の割合が約80%と最も多くなっています。また、今シーズンの集団嘔吐下痢症16事例は、現在のところ、すべて保育所及び幼稚園等の低年齢層施設で発生しています。



3, 集団嘔吐下痢症の原因病原体について (2011/1/13現在)

今シーズン発生した集団嘔吐下痢症16事例について、病原体検索を実施した結果、すべてノロウイルスGⅡ (NVGⅡ) が検出されました。これらの内、13事例21株のNVGⅡについて遺伝子解析を行った結果は、すべてGⅡ/3型でした。

NVGⅡ/3型は、2006/07シーズン以降、全国で継続して検出されていますが、今シーズン(集計期間: 第36~52週)は、NVGⅡの中で50%強 (NVGⅡ 154株中GⅡ/3型83株) を占めており、現在、最も多く検出されている遺伝子型です。



全国のNVGⅡの遺伝子型検出状況について(2010年第36~52週)

－ インフルエンザ：患者報告数が急増、流行入り！！ －

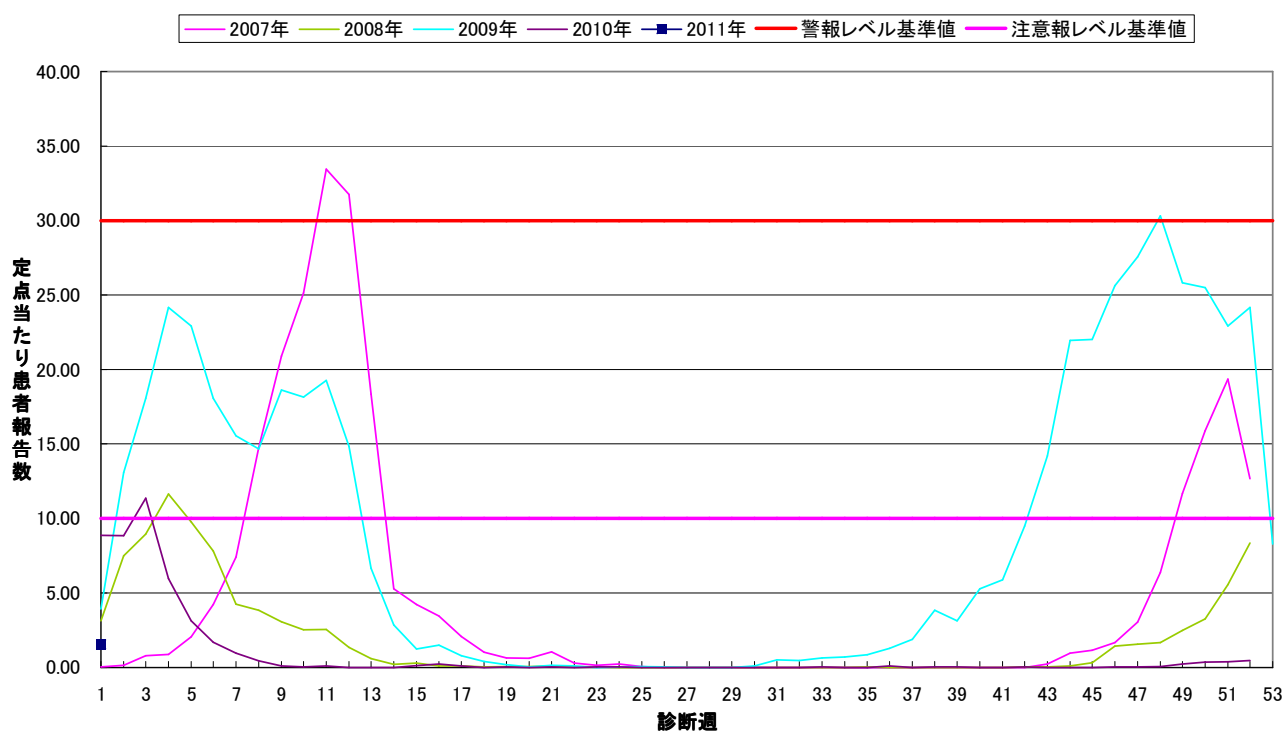
県全体の定点当たり患者報告数は、1.54人（前週：0.48人）と大きく増加し、流行入りの目安となる定点当たり患者報告数1.00人を超えました。海南、岩出保健所管内を除く、すべての保健所管内で患者報告数が増加しています

保健所別では、橋本保健所管内が2.50人（前週：0.50人）と最も多くなっています。その他、和歌山市、海南、岩出、湯浅、御坊保健所管内及び串本支所管内で、患者報告数が1.00人以上となっており、県北・中部を中心に流行している状況です。

また、国立感染症研究所感染症情報センターの発表によると、全国の2010年第52週の定点当たり患者報告数は、2.30人（前週：2.06人）と増加しています。

なお、インフルエンザの警報・注意報レベル基準値は警報が30.0人（終息基準値：10.0人）、注意報が10.0人です。（共に定点当たり患者報告数）

インフルエンザ(和歌山県全体)



— **流行性耳下腺炎** : **患者報告数が増加、御坊保健所管内で警報レベル基準値を超える！！** —

県全体の定点当たり患者報告数は、3.10人（前週：1.77人）と大きく増加しています。

保健所別では、御坊保健所管内の患者報告数が、7.50人（前週：4.50人）と増加し、警報レベル基準値を超えました。その他、和歌山市、岩出、橋本、湯浅保健所管内で、注意報レベル基準値を超えました。

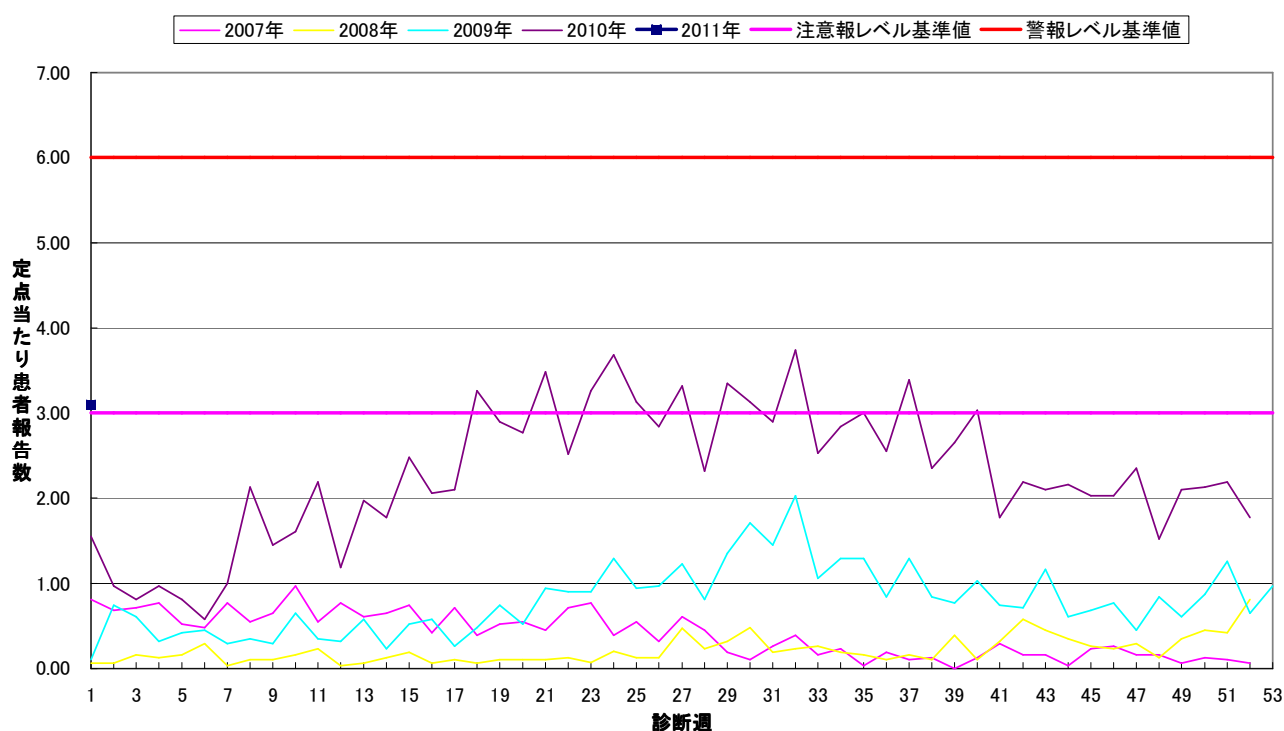
国が発行している感染症週報第50号（12月13日～12月19日）では、全国の定点当たり患者報告数は1.27人で、過去5年間の同時期と比較してやや多い状況です。

なお、流行性耳下腺炎の警報・注意報レベル基準値は警報が6.0人（終息基準値：2.0人）、注意報が3.0人です。（共に定点当たり患者報告数）

流行性耳下腺炎（ムンプス、おたふくかぜ）の詳細な説明はこちら

http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/k03/k03_35.html

流行性耳下腺炎(和歌山県全体)



－ **水痘**：患者報告数が増加、一部保健所管内で注意報レベル基準値を超える！ －

県全体の定点当たり患者報告数は、3.77人（前週：1.90人）と大きく増加しています。

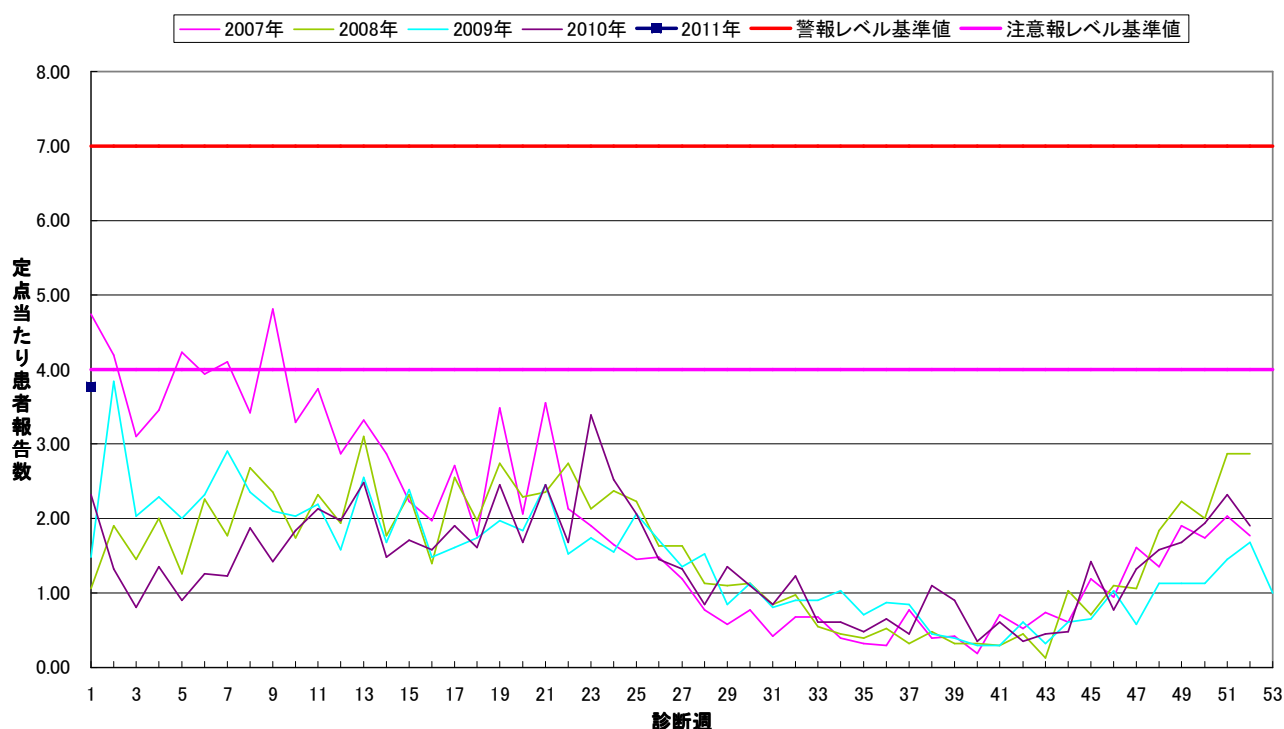
保健所別では、和歌山市、橋本、湯浅、田辺保健所管内の患者報告数は、それぞれ5.11人（前週：2.56人）、4.75人（前週：1.50人）、4.67人（前週：0.33人）、4.75人（前週：2.00人）と、注意報レベル基準値を超えました。

国が発行している感染症週報第50号（12月13日～12月19日）では、全国の定点当たり患者報告数は2.54人と第43週以降増加が続いており、過去5年間の同時期と比較してやや多い状況です。

なお、水痘の警報・注意報レベル基準値は警報が7.0人（終息基準値：4.0人）、注意報が4.0人です。（共に定点当たり患者報告数）

水痘（水ぼうそう）の詳しい説明はこちら (http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/k01_g2/k01_24.html)

水痘(和歌山県全体)



◆◆ 全数把握感染症について ◆◆

<届出状況>

当該週に診断された感染症のみ掲載しています。

- 1類感染症：報告はありませんでした。
- 2類感染症：報告はありませんでした。
- 3類感染症：報告はありませんでした。
- 4類感染症：報告はありませんでした。
- 5類感染症：報告はありませんでした。

◆◆ 5類定点把握感染症（週報）について ◆◆

<各保健所の警報注意報レベル状況>

警報レベル

- 感染性胃腸炎（新宮保健所管内）
- 流行性耳下腺炎（御坊保健所管内）

注意報レベル

- 水痘（和歌山市、橋本、湯浅、田辺保健所管内）
- 流行性耳下腺炎（和歌山市、岩出、橋本、湯浅保健所管内）

<年齢階級層別の患者報告数（和歌山県）>

（インフルエンザ）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～
インフルエンザ	報告	77	-	2	2	3	8	5	4	3	4	8	4	10	3	5	7	4	3	1	-	1
	定当	1.54	-	0.04	0.04	0.06	0.16	0.10	0.08	0.06	0.08	0.16	0.08	0.20	0.06	0.10	0.14	0.08	0.06	0.02	-	0.02

（小児科定点対象感染症）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20歳～
RSウイルス感染症	報告	34	11	6	9	3	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	1.10	0.35	0.19	0.29	0.10	0.13	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	報告	3	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	定当	0.10	-	-	0.06	-	-	-	-	-	-	0.03	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	23	-	-	-	-	3	4	1	1	4	4	1	5	-	-
	定当	0.74	-	-	-	-	0.10	0.13	0.03	0.03	0.13	0.13	0.03	0.16	-	-
感染性胃腸炎	報告	156	1	11	18	18	14	8	19	11	11	9	10	18	2	6
	定当	5.03	0.03	0.35	0.58	0.58	0.45	0.26	0.61	0.35	0.35	0.29	0.32	0.58	0.06	0.19
水痘	報告	117	2	12	17	21	10	21	8	12	6	2	3	3	-	-
	定当	3.77	0.06	0.39	0.55	0.68	0.32	0.68	0.26	0.39	0.19	0.06	0.10	0.10	-	-
手足口病	報告	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	定当	0.03	-	-	-	-	-	-	-	0.03	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	報告	14	-	1	-	-	1	2	4	3	-	2	1	-	-	-
	定当	0.45	-	0.03	-	-	0.03	0.06	0.13	0.10	-	0.06	0.03	-	-	-
突発性発疹	報告	14	-	9	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.45	-	0.29	0.16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	報告	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
	定当	0.06	-	-	-	-	-	0.03	-	-	-	-	-	0.03	-	-
ヘルパンギーナ	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告	96	-	-	2	6	8	18	20	15	11	8	2	5	-	1
	定当	3.10	-	-	0.06	0.19	0.26	0.58	0.65	0.48	0.35	0.26	0.06	0.16	-	0.03

<保健所別の患者報告数（和歌山県）>

(-:患者報告がない、…:保健所管内に定点が存在しない)

		和歌山市	海南	岩出	橋本	湯浅	御坊	田辺	新宮	串本
インフルエンザ	報告	26	3	9	15	11	7	2	2	2
	定当	1.73	1	1.5	2.5	2.2	2.33	0.29	0.67	1
RSウイルス感染症	報告	12	-	7	2	2	6	5	-	-
	定当	1.33	-	1.75	0.5	0.67	3	1.25	-	-
咽頭結膜熱	報告	-	1	2	-	-	-	-	-	-
	定当	-	0.5	0.5	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	4	3	1	10	1	-	2	2	-
	定当	0.44	1.5	0.25	2.5	0.33	-	0.5	1	-
感染性胃腸炎	報告	67	5	22	13	3	9	12	25	-
	定当	7.44	2.5	5.5	3.25	1	4.5	3	12.5	-
水痘	報告	46	6	6	19	14	2	19	5	-
	定当	5.11	3	1.5	4.75	4.67	1	4.75	2.5	-
手足口病	報告	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	0.25	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	報告	12	1	1	-	-	-	-	-	-
	定当	1.33	0.5	0.25	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	報告	7	-	2	1	2	1	1	-	-
	定当	0.78	-	0.5	0.25	0.67	0.5	0.25	-	-
百日咳	報告	1	-	-	-	-	-	1	-	-
	定当	0.11	-	-	-	-	-	0.25	-	-
ヘルパンギーナ	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告	31	4	15	13	12	15	4	2	-
	定当	3.44	2	3.75	3.25	4	7.5	1	1	-
急性出血性結膜炎	報告	-	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	-	…	…	…	…	…	-	…	…
流行性角結膜炎	報告	2	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	0.67	…	…	…	…	…	-	…	…
細菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
無菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
マイコプラズマ肺炎	報告	-	…	-	-	-	1	1	-	…
	定当	-	…	-	-	-	1	0.5	-	…
クラミジア肺炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…

和歌山県感染症情報（WIDR）2011 年第 1 号

発行日：平成 23 年 1 月 13 日

発行元：和歌山県感染症情報センター

（和歌山県環境衛生研究センター内）

和歌山市砂山南 3-3-45

TEL 073-423-9570

E-mail e0318011@pref.wakayama.lg.jp

URL <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031801/kishukko>

（お問い合わせ先）

和歌山県福祉保健部健康局難病・感染症対策課

和歌山市小松原通一丁目 1 番地

TEL 073-441-2643

E-mail e0503001@pref.wakayama.lg.jp

この WIDR は感染症新法に基づいて実施されている感染症発生動向調査から作成しています。ここに掲載した情報はあくまでも速報であり、今後の調査結果で訂正される可能性がありますのでご注意ください。